

ダイビング船の安全対策について

ダイビング船の安全対策ガイドラインの概要

近年、ダイビング船による海難事故が相次いで発生していることを踏まえ、令和7年4月より「ダイビング船の安全対策検討委員会」を開催し、「ダイビング船安全対策ガイドライン」（令和7年7月24日公表）を策定した。

本ガイドラインは、ダイビング船の船長をはじめ、ダイビング事業者やダイバー等関係者が取り組むべき安全対策を全国共通のベースラインとして、ハード・ソフトの両面から総合的に取りまとめたものである。



<参考資料>

- ・ダイビング船事故事例集
- ・場面別Q&A集
- ・ガイドライン対応状況確認表
- ・発航前検査チェックリスト

ガイドラインの主な内容

1. 安全管理体制の充実

- ✓ 運航可否判断基準等の設定
- ✓ 緊急時対応計画
- ✓ 乗船者名簿の管理
- ✓ 損害賠償責任保険への加入



2. 船長等が船舶運航時に守るべき事項

- ✓ 船舶の安全点検
- ✓ アンカリングの安全対策
- ✓ 適切な見張りの実施
- ✓ ダイバー潜水中の国際信号旗「A」の掲揚等
- ✓ プロペラへの巻き込み事故防止

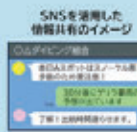


3. ダイバー、ダイビング事業者が守るべき事項

- ✓ ポートダイビングに係る講習の受講
- ✓ 運航事業者によるガイドライン対応状況の公表と利用者による適合船舶の選択
- ✓ 利用者の意識の向上

4. 地域連携と安全活動の醸成

- ✓ 事業者間の連携
 - ・情報共有体制の構築
 - ・勉強会等の実施
 - ・地域ルール の策定
- ✓ 講習・訓練の実施及び参加



5. 器材重量を考慮した旅客数の制限、重量物の船内配置

- ✓ 本船が積載できる器材の数、重量及び積載場所に関する船内での掲示
- ✓ 本船が積載できる器材の数、重量を超えて追加搭載する潜水器材がある場合の注意事項の徹底
- ✓ 重量物(潜水器材)の適切な積載方法

6. 船舶をダイビング目的で使用する場合の船舶検査

- ✓ 運航実態を把握した確実な船舶検査の実施
- ✓ 仕切り板を外した状態を前提とした最大とう載人員に係る条件の指定
- ✓ 臨時検査の受検義務

▶ 検討委員会の開催状況、会議資料のほか、本ガイドラインのPDFデータについては、海事局ホームページに掲載しております。詳細はこちらを御覧ください。



ダイビング船の安全対策について